

第2章 見附市の概要

1. 位置・地勢

(1) 地理的条件

見附市は新潟県のほぼ中央に位置し、南側は中越地域の拠点都市である長岡市と隣接しています。市土は東西に11.5km、南北に14.7km、面積77.96km²であり、市東部は丘陵部、市西部に平野が広がっています。

見附市の交通網は、市内には信越本線が縦断しており、市内唯一の駅である見附駅が設置されています。また、市内には北陸自動車道と上越新幹線が通過しており、高速交通体系へ容易にアクセスできる恵まれた環境にあります。

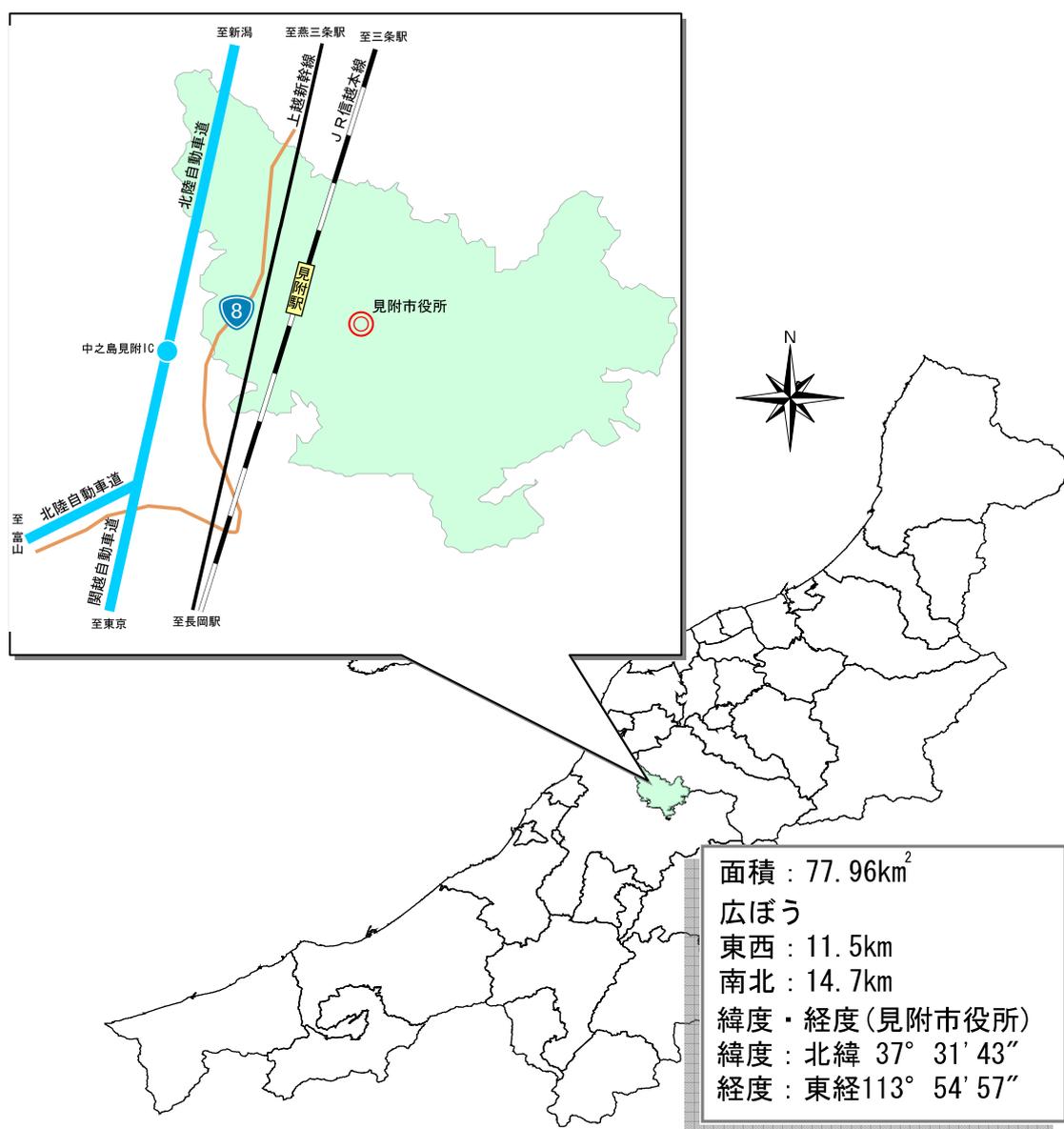


図 見附市の地理的条件

(2) 冬季気象特性

見附市は、典型的な日本海側気候であり、降水量は梅雨に多いだけでなく、冬季も雪などで多くなります。

近年降雪量は少雪傾向にあり、平成16年に1mを超える積雪を記録していますが、平成9年から平成20年までの間に、1mを超える積雪は1度しか記録していません。

しかし、積雪時には、徒歩・車いす利用者などの交通環境が著しく悪化するほか、バス停留所が埋没するなど、公共交通利用者の利用環境も悪化します。

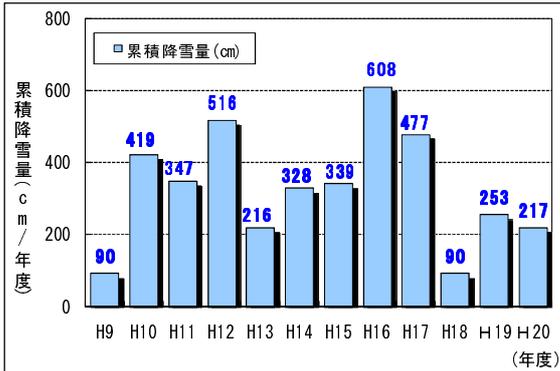


図 見附市の年間降雪量

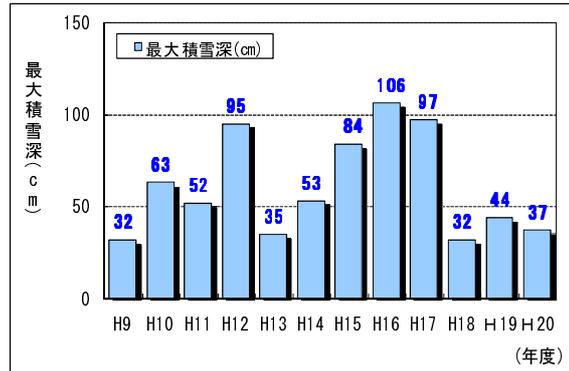


図 見附市の最大積雪深

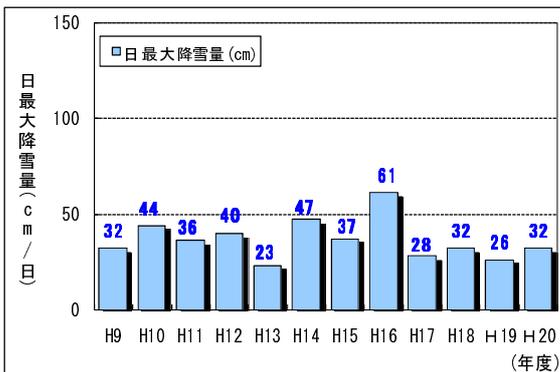


図 見附市の日最大積雪量



図 積雪時の歩行環境
(昭和町二丁目)

参考：新潟県 地域政策課
見附市昭和町



図 積雪時の自転車走行環境
(本所二丁目)



図 積雪時のバス停の状況
(市役所前バス停)

※図はH22年1月撮影

(3) 土地利用・施設分布

見附市は見附地区と今町地区に二つの市街地が存在する複眼都市として発展してきました。しかし、近年では二つの市街地の間に新潟県中部産業団地（見附テクノ・ガーデンシティ）が造成され、一体的な市街地へと変化しつつあります。

施設分布は見附地区に市役所や病院等の公共公益施設が集積しており、市民の交流拠点の場としてネーブルみつけが立地しています。また、商業施設については見附地区、今町地区の両地区に大規模小売店舗が分布しています。

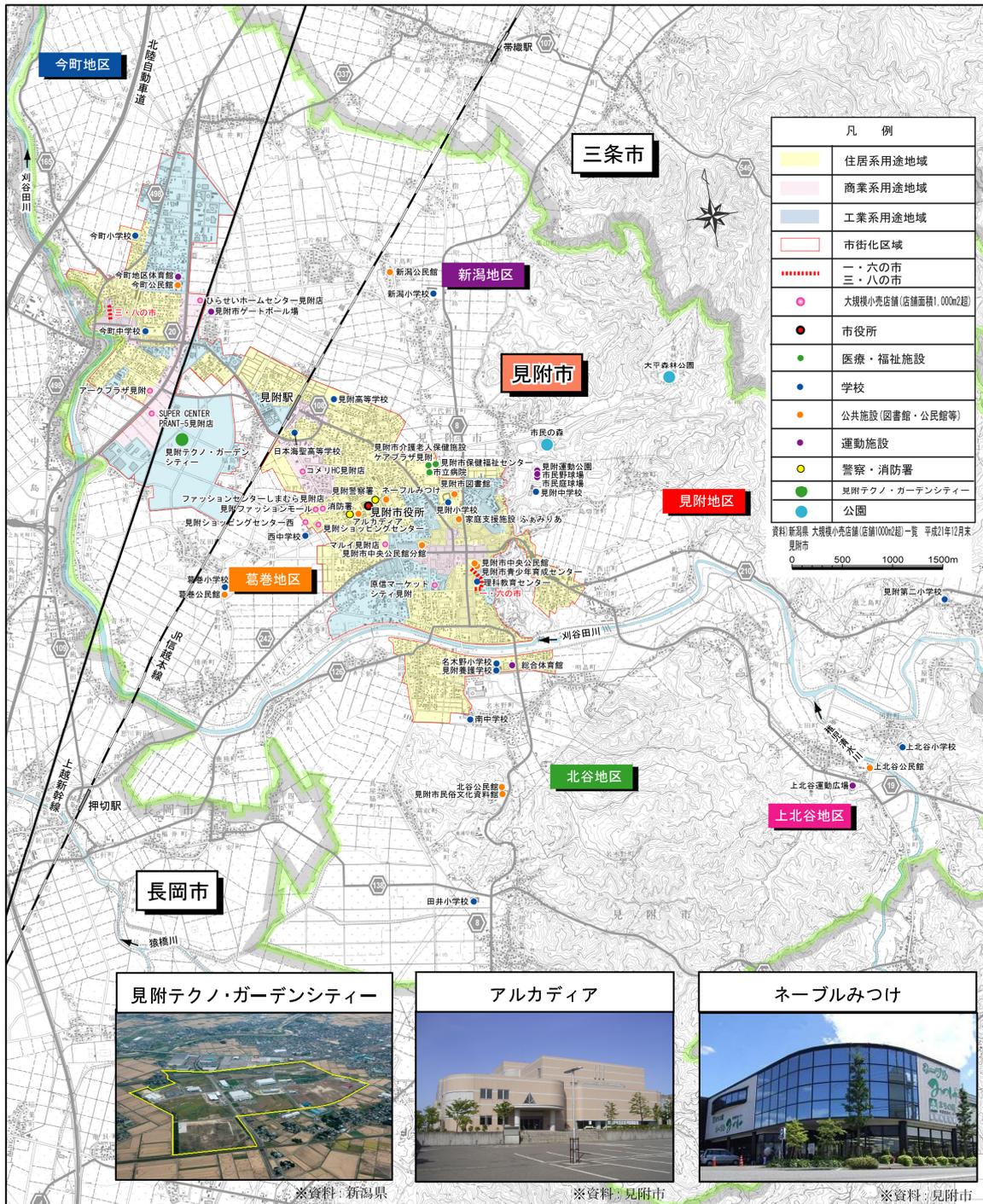


図 見附市施設分布図

※図は H21 年 12 月末時点の施設分布を表す

2. 人口の特性

(1) 人口・世帯の推移

見附市の人口は平成7年をピークに減少傾向にあります。また、世帯数は増加傾向にあり1世帯当たりの構成人数は減少傾向にあります。

種	年度	人口	世帯数
国勢調査	S55	41,833	10,057
	S60	42,546	10,423
	H2	43,116	10,978
	H7	43,760	11,771
	H12	43,526	12,445
	H17	42,668	12,983
住民基本台帳	H17	43,689	13,129
	H18	43,433	13,227
	H19	43,022	13,369
	H20	43,022	13,510
	H21	42,844	13,670

※住民基本台帳：10月1日現在のものを使用

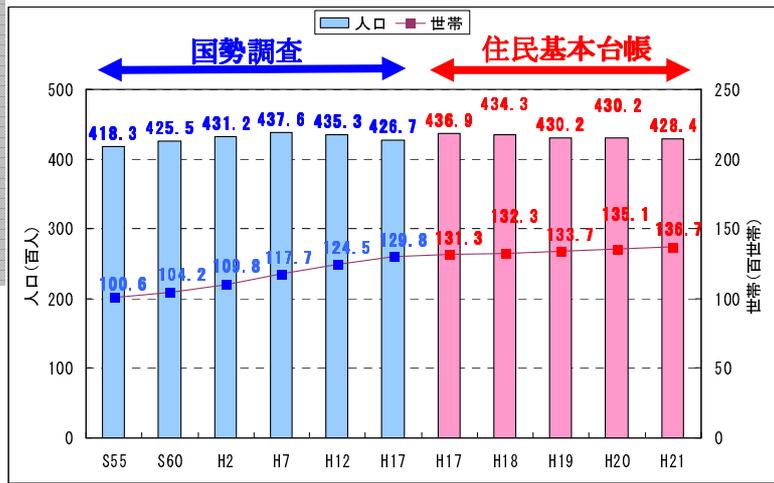


図 見附市の人口推移

資料：S55～H17年 国勢調査
H17～H21年 住民基本台帳(10月1日現在)

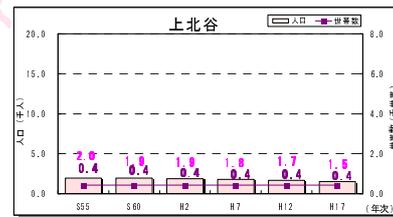
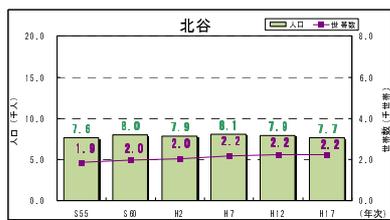
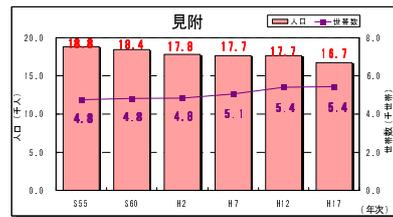
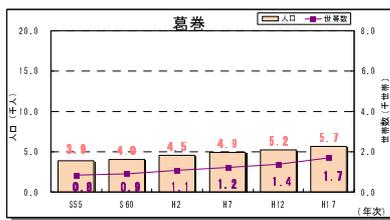
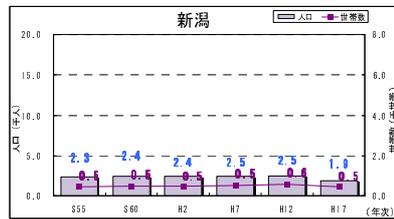
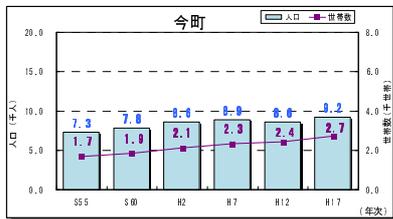


図 見附市の地区別人口の推移

資料：S55～H17年 国勢調査
H21年 住民基本台帳(10月1日現在)

図 見附市の地区別人口の推移

(2) 将来人口

見附市の人口は将来減少していくと予測されており、平成42年時点の人口は3万5千人程度になると考えられています。一方、見附市第4次総合計画では平成27年時点の目標値として、4万5千人と設定しており、平成17年より約5.5%の人口増加を目指すこととしています。

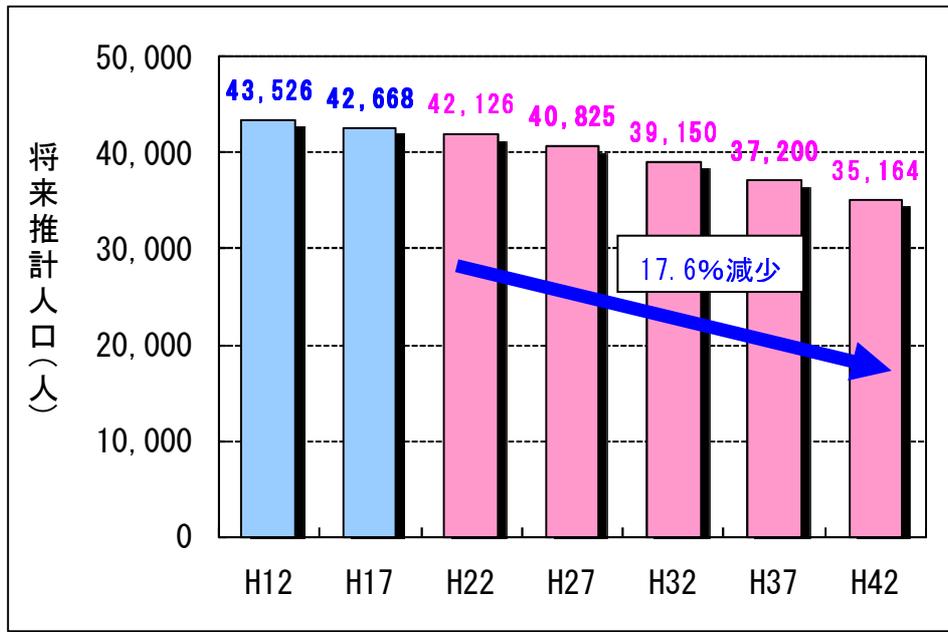


図 見附市の将来人口

資料：国勢調査
国立人口問題研究所

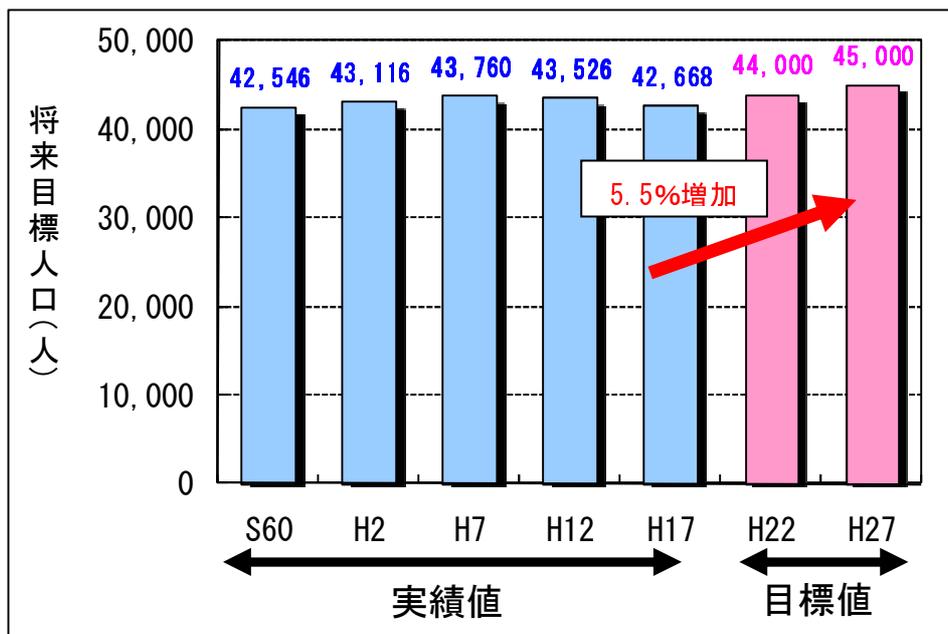


図 見附市将来人口の目標値

資料：国勢調査
見附市第4次総合計画

(3) 年齢別人口の推移

昭和 60 年以降、見附市では 15 歳未満の年少人口は減少傾向にあります。一方、65 歳以上の老年人口は増加を続けており、平成 21 年時点で約 25%と見附市の人口の 4 人に 1 人が高齢者である状態です。

今後も高齢者割合は増加するものと予測されており、平成 42 年には 65 歳以上の割合が 33%程度に達すると考えられています。

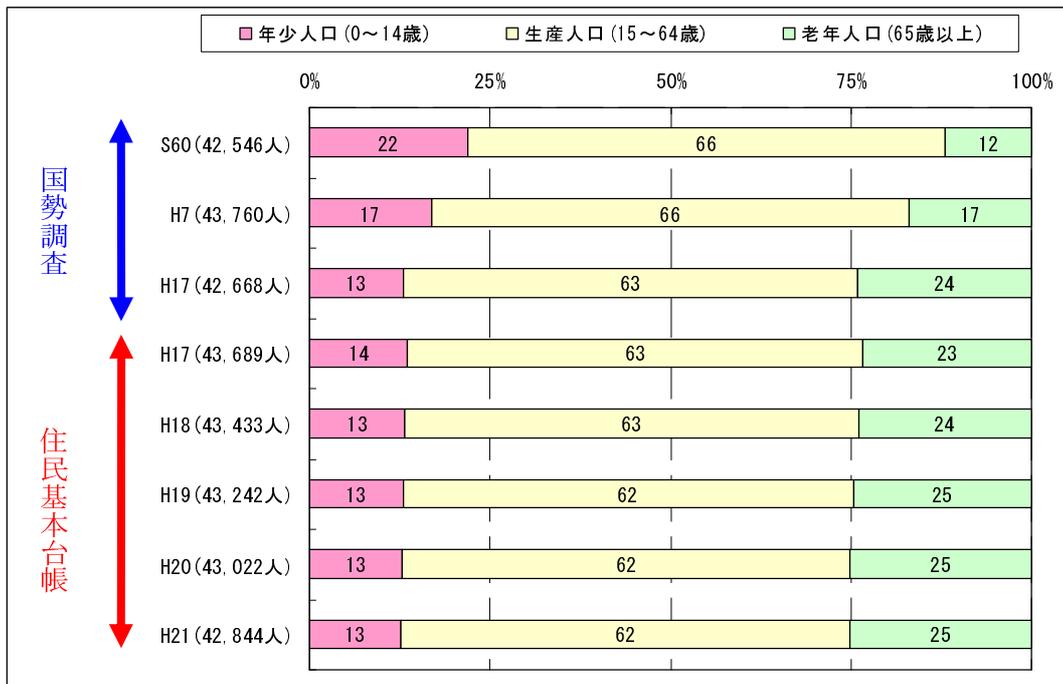


図 見附市の年齢別人口の推移

資料：S60～H17年 国勢調査
H17～H21年 住民基本台帳(10月1日現在)

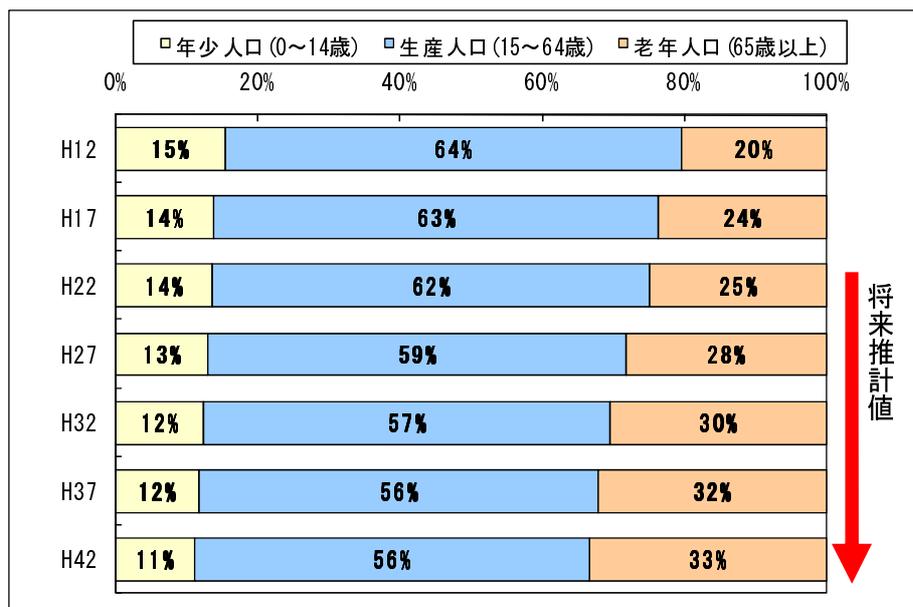


図 見附市の年齢別人口の推移

資料：国勢調査
国立人口問題研究所

(4) 障がい者等人口の推移

見附市の障がい者手帳等の交付人口は、平成18年以降1700人前後とほぼ横ばいの状態となっています。また、身体障がい者の内訳としては肢体に不自由を持つ方の割合が最も高くなっています。

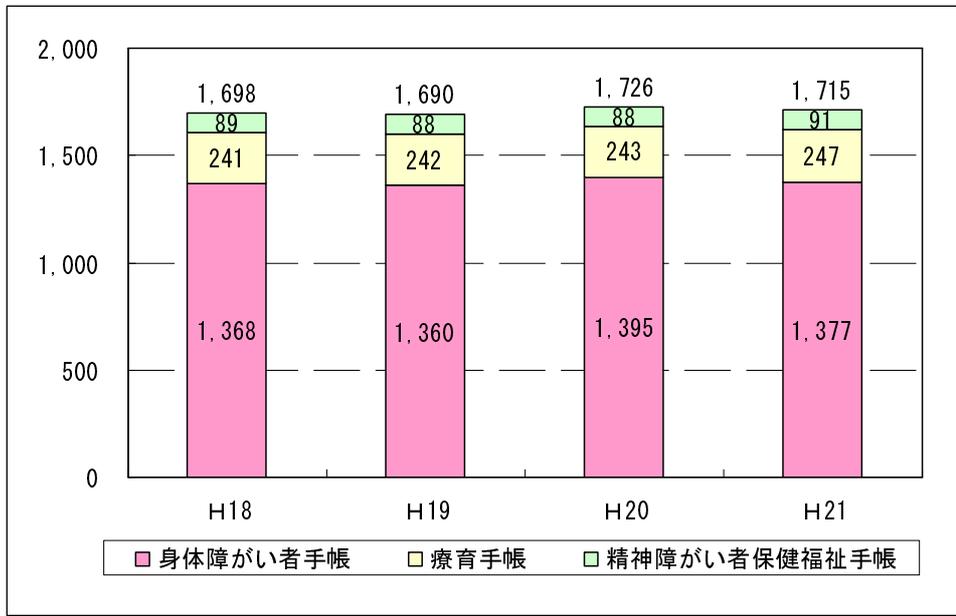


図 見附市の障がい者手帳等の交付人口

※各年のデータは4月1日現在
※資料：見附市



図 見附市の身体障がい者人口

※各年のデータは4月1日現在
※資料：見附市

3. 公共交通の現状

(1) 路線バス

① 路線バスの概要

見附市内のバス路線網は、今町市街地や見附駅、見附市街地を經由する路線が多く、郊外へのバス路線はここを中心に東西に広がっています。

長岡方面へのバスは見附エクスプレスや急行・快速バスが運行されており、通勤・通学者の利便性向上が図られています。

表 見附市内のバス路線一覧

路線系統	路線番号	路線名	運行本数 (往復数)	集約路線名	運行本数 (往復数)
1	1-1	栃尾～楡原・興野～中条 線	0.5	①中条～見附駅～長岡市(栃尾) 方面	0.5
2	2-1	上見附～中之島文化センター 線	0.5	②見附～中之島文化センター	0.5
	2-2	栃尾～楡原・市役所～中之島 線	0.5	③長岡市(栃尾)～見附駅～ 中之島文化センター	1
	2-3	栃尾～明晶～中之島 線	0.5		
3	3-1	長岡駅～新国道～東三条駅 線	1	④長岡方面～三条方面	8
	3-2	長岡駅～新国道～ポエム～東三条駅 線	5		
	3-3	長岡駅～新国道～ポエム～病院～東三条駅 線	2		
4	4-1	長岡駅～高見～今町5丁目 線	5	⑤長岡方面～今町地区	5.5
	4-2	今町5丁目～高見～向陵高校 線	0.5		
5	5-1	(急行) 長岡駅～傍所～栃尾 線	15.5	⑥長岡方面～長岡市(栃尾)	21.5
	5-2	(急行) 長岡駅～楡原・傍所～栃尾 線	6		
6	6-1	(快速) 栃尾～桑探～新町～長岡駅東口 線	0.5	⑦長岡市(栃尾)～長岡中心部方面	3
	6-2	(快速) 長岡駅東口～桑探～栃尾 線	1.5		
	6-3	(快速) 栃尾～桑探～向陵高校 線	0.5		
	6-4	(快速) 栃尾～桑探・干場～宮内 線	0.5		
7	7-1	長岡駅東口～名木野・椿沢～上見附～見附駅 線	0.5	⑧見附駅～長岡中心部方面	1
	7-2	長岡駅東口～麻生田～上見附～見附駅 線	0.5		
	7-3	長岡駅東口～名木野・椿沢～上見附 線	13.5	⑨見附～長岡中心部方面	25.5
	7-4	長岡駅東口～耳取～上見附 線	5		
	7-5	長岡駅東口～麻生田～上見附 線	6.5		
	7-6	長岡駅東口～楡原～栃尾 線	0.5		
8	8-1	上見附～下塩 線	4	⑩見附～長岡市(栃尾)	5
	8-2	市民病院～上見附～下塩	1		
9	9-1	コミュニティバス 上見附前～今町5丁目 線	8	⑪コミュニティバス 見附～今町地区	8
10	10-1	みつけエクスプレス 上見附前～長岡駅東口 線	11	⑫みつけエクスプレス 見附～長岡中心部方面	11

※参考 見附市、越後交通、越後柏崎観光バスの各路線図

※片側方向のみの路線が存在するため、運行本数に少数が生じる路線があります

②路線バス等の誘致圏と公共交通空白地域

公共交通空白地域は、市街地から離れた郊外部に多く点在しています。新潟地区では、ほとんどの集落が交通空白地区となっています。

また、空白地区の多くは国道や県道といった幹線道路から離れた地域にあります。一方、各バス停の1日当たりの運行本数では10便以上のバスが運行されている地域が最も多くなっています。

(図 バス停誘致圏と公共交通空白地域 を参照)

③運行状況

見附市の路線バスは、見附区内を最も多く通過しています。また、バス路線の多くは中心商業地を通過して郊外へ伸びている状況です。

路線別に見ると、長岡方面へと向かう路線の運行本数が多くなっており、葛巻経由・北谷経由の路線では、ほぼ同水準の運行がされています。

また、コミュニティバスについても見附地区～今町間を1日当たり8便の運行がされています。

(図 バス種別の運行本数 を参照)

④利用者数

市内のバス路線全体を見ると、平成14年に道路運送法改正により、許可制から届け出制へと変更したことで運行本数等が減少し、平成元年から利用者数、走行距離は減少傾向にあります。一方、コミュニティバスについては平成17年10月より刈谷田川左岸一部地区までルートを延長したこと、平成18年4月より運行本数を2便増加した影響もあり、利用者が増加しています。平成20年度についても、ルート変更や増便を行い利用者が増加しています。

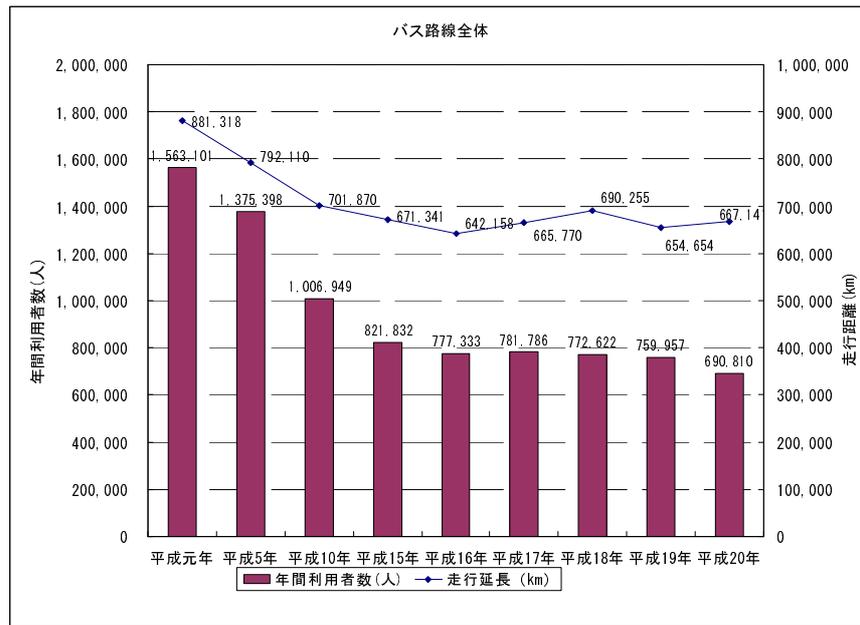


図 見附市内のバスの年間利用者数推移

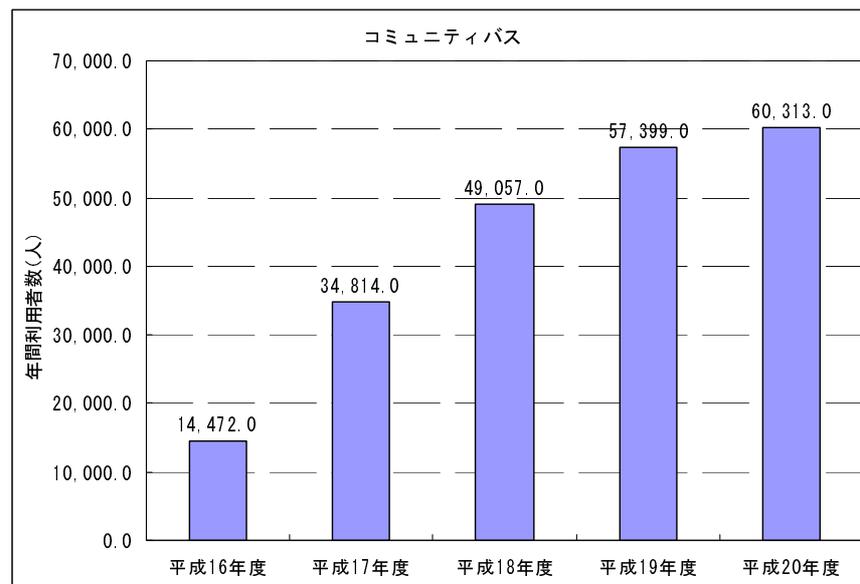


図 コミュニティバスの年間利用者数推移

※コミュニティバスは平成16年7月1日より運行開始

資料：越後交通株式会社 見附営業所
越後柏崎観光バス
見附市企画調整課